



高病原性鳥インフルエンザに関する新情報

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（3例目）

11月30日、新潟県上越市の採卵鶏農場において、新潟県内で2例目となる高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）の疑似患畜が確認されました。

これに伴って、農林水産省消費・安全局長から家きんの飼養者に対し、高病原性鳥インフルエンザに対する厳重な警戒を要請するとともに、発生防止対策として、特に下記について助言・指導の依頼がありましたのでご留意の上、本病の発生防止に向け更なる予防対策の強化・徹底をお願いします。

また本通知の発出に伴い、点検・確認事項をまとめたリーフレット（次頁）「家きん飼養者への皆様へ」が配布されましたので、ご活用下さい。

1. 家きん舎の一斉点検

「平成28年度における高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策の強化について」（平成28年9月23日付け28消安第2664号農林水産省消費・安全局長通知）の「**野鳥、ねずみ等の野生動物対策**」を再徹底することとし、

- ① 野鳥等の野生動物の家きん舎への侵入を防止することができる防鳥ネット等の設置及びその破損
- ② 家きん舎の壁面の破損や家きん舎の屋根と壁の隙間等、小型の野生動物が家きん舎の外部から侵入し得る経路がないか、家きん舎の内部及び外部から改めて詳細に緊急点検し、十分でない場合には修繕等を行うこと。

2. 家きん舎の定期点検

池などの野鳥生息地の近くや、野生動物の生息しやすい環境にある農場に対しては、上記1の一斉点検の後、**定期的に上記1の一斉点検と同じ内容の点検を行うこと。**



家きん飼養者の皆様へ

国内の家きんで高病原性鳥インフルエンザが発生しています。本病に対する嚴重な警戒をお願いします。予防対策として、特に以下の点の点検・確認をお願いします。

(点検・確認事項)

- 野鳥、ねずみなどの野生動物対策として、
 - ・野鳥などの野生動物の家きん舎への侵入を防止することができる防鳥ネットなどの設置とその破損
 - ・家きん舎の壁面の破損や、家きん舎の屋根と壁の隙間など、小型の野生動物が家きん舎の外部から侵入する経路がないか、家きん舎の内部及び外部から改めて詳細に緊急点検して下さい。十分でない場合には修繕などを行って下さい。
- 家きん舎に入る場合には、ウイルスを持ち込まないように、衣服や靴の交換や十分な消毒を行って下さい。
- 家きん舎が、
 - ・池などの野鳥生息地の近くにある場合
 - ・野生動物の生息しやすい環境にある場合には、上記対策を定期的に点検・確認して下さい。
- これまで以上に念入りに、飼養家きんの毎日の健康観察を行って下さい。死亡家きんが増えた、元気消失といった家きんが増えたなどといった異状を見つけた場合には、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡して下さい。



高病原性鳥インフルエンザに関する正しい知識の普及等について

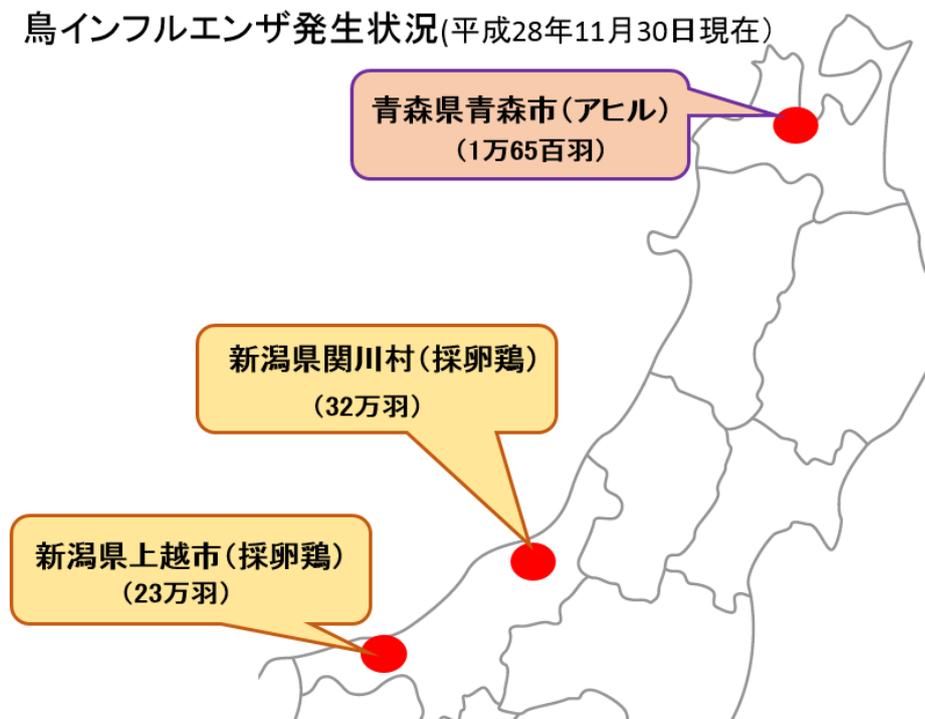
平成28年11月28日及び29日に、青森県及び新潟県内の家きん飼養農場において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認され、防疫措置が講じられているところです。本件に関して、農林水産省より正確な知識の普及について会員への周知、協力依頼がありましたのでお知らせします。

家きんの肉又は卵の摂食により、鳥インフルエンザが人に感染することは世界的にも報告されておらず、食品安全委員会ホームページ (<http://www.fsc.go.jp>) においても、鳥インフルエンザに関する情報を掲載するなど本病に関する正確な知識を普及するための措置を講じております。皆様におかれましては、本病の発生県産の鶏卵及び鶏肉の取扱いにつきまして、「〇〇県産の鶏卵・鶏肉は扱っていません」といった不適切な告知や、発生県産であることのみを理由とした鶏卵・鶏肉の取引拒否等が行われることのないよう、引き続き本病に関する正確な知識の普及について、特段の御配慮をいただきますようお願いいたします。

<農林水産省 鳥インフルエンザに関する情報>

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

鳥インフルエンザ発生状況(平成28年11月30日現在)





鳥インフルエンザ経営再建保険募集

平成29年の鳥インフルエンザ経営再建保険の募集が始まりました。この保険は、鳥インフルエンザ事故に遭遇した生産者に対して、**国の補償、(一社)日本養鶏協会の家畜防疫互助基金支援事業の補償に加えて経営再建を支援する制度**として発足したものです。本年は11月末に青森県及び新潟県内の家きん飼養農場において、国内では約2年振りとなる**高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜(H5亜型)が確認**されたほか、国内各地で野鳥などから**鳥インフルエンザウイルスが確認**されており、**絶対に油断できない冬**となりそうです。会員の皆様には既にご案内を送付しておりますが、この機会に**鳥インフルエンザ経営再建保険への加入をご検討**いただきますようお願いいたします。この保険の主要な点は下記となります。<上記録下線部クリックで該当ページが開きます>

- 1. 申込期限 29年1月13日(金)
- 2. 保険料納付期限 29年1月20日(金)
- 3. 保険期間 29年2月1日～30年1月31日までの1年間
- 4. 加入対象者 一般社団法人 日本養鶏協会の会員で採卵養鶏を業とするものに限る(本制度に加入を希望する方は、日本養鶏協会に会員登録すれば加入資格が得られます。

なお、本年度に当協会新規加入をされる生産者については、28年度より会員会費の負担をお願いします。

- 5. 補償総額 5億円

| | 1羽あたり補償限度額 | 1羽あたり保険料 |
|-----|------------|----------|
| 成鶏 | 430円 | 2.40円 |
| 育成鶏 | 180円 | 1.20円 |

- 6. 補償特約 事故に遭遇した加入者が廃業を決断した場合でも300万円を限度として補償が受けられる(廃業費用特約)
- 7. 損金算入 本保険制度の保険料は当該支払年度に損金算入することができる
- 8. 無事故戻し 15%無事故戻し条項
- 9. 協会内連絡窓口 金子、小田上(TEL 03-3297-5515)

<https://www.jpa.or.jp/news/insurance/index.html>



日鶏協ニュース

平成28年11月号
一般社団法人 日本養鶏協会

知っていますか？ たまごの信頼と安心の証
公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン



画像クリックで該当ページが開きます
クは信頼と安心の証しです。

今回のキャンペーンは、公正マークへの理解を深め、たまご料理を贅沢に楽しんでもらうため、クイズに正解すると抽選で公正マーク付きたまご1ヵ月分(30個)をプレゼントとなっていますので、みなさんふるってご応募ください。

応募期間：2016年11月28日(月)～12月27日(火)

賞品：卵1ヶ月分(30個) 50名様

応募方法：応募フォームから、クイズの回答・住所・氏名などの必要事項を入力してご応募ください。

*ご応募はお1人様1回限りとさせていただきます。

*ご応募は日本国内にお住まいの方に限らせていただきます。

当選発表：当選の発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。

賞品の発送は2017年1月下旬頃の予定です。

お問合せ先

鶏卵公正取引協議会事務局

Tel：03-3297-5516 受付時間：9：30～17：30(土・日・祝日を除く)

<https://www.campaignjp.info/keiran07/>



鶏卵規格取引研修会開催



中央鶏卵規格取引協議会（事務局：（一社）日本養鶏協会内）は、11月11日に、「平成28年度鶏卵規格取引研修会（東京会場）」を開催し、鶏卵生産者や流通関係者89名が受講されました。

研修会では、「最近の鶏卵を巡る情勢」・「鶏卵の格付け及び表示上の留意事項、パック詰小売鶏卵の規格及び品質検査の概要」・「安全な鶏卵の生産と供給のために」・「鶏卵の表示に関する公正競争規約」の講義があり、終了後に卵重計量責任者の資格となる修了証書が授与されました。

研修会では、「最近の鶏卵を巡る情勢」・「鶏卵の格付け及び表示上の留意事項、パック詰小売鶏卵の規格及び品質検査の概要」・「安全な鶏卵の生産と供給のために」・「鶏卵の表示に関する公正競争規約」の講義があり、終了後に卵重計量責任者の資格となる修了証書が授与されました。

鶏卵規格取引研修会は、12月2日に京都市内の京都リサーチパーク東地区1号館でも開催されます。

協会活動報告

(下線色付き部分はホームページに連結)

1. 各種事業についての報告

(1) 鶏卵生産者経営安定対策事業

① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量（トン/月当たり）

| | |
|--------|---------|
| 平成25年度 | 164,822 |
| 平成26年度 | 160,792 |
| 平成27年度 | 161,936 |
| 平成28年度 | 164,846 |

② 10月の標準取引価格 206.98 円/Kg

平成28年度補填基準価格 189 円/Kg

平成28年度安定基準価格 169 円/Kg

(2) 国産鶏卵普及拡大対策事業

11月5日の「いいたまごの日」にちなみ、前日の4日に東京銀座の東京ガススタジオプラスジーギンザにおいて、第7回目となる「いいたまごの日」プレス発表会として本協会と（一社）日本卵業協会とのコラボイベントを開催しました。



本協会齋藤会長の「本イベントを通じて鶏卵の正しい知識が広まり卵の価値を見直して家庭で卵料理を作るきっかけとなるよう願っている」とあいさつの後、午前は日本卵業協会の青年部組織「ヤングミーティング」が中心となって、「第2回たまごニコニコ料理甲子園」の決勝大会・午後は本協会がマイナビウーマンの

ウェブサイトを通じて応募いただいた16名の女性を招いて、「お手軽&おしゃれな簡単たまご料理レッスン♪」を催しました。

「第2回たまごニコニコ料理甲子園」には

全国6ブロックの予選を勝ち抜いた6チームが出場し、自慢のたまご料理やアイデアを競った結果、北海道・東北ブロック代表の太田佳奈さん（山形県立山辺高等学校）がクラ

ンプを獲得し、賞状と賞金10万円の目録と副賞（たまご1年分）、記念のメダルが授与されました。

午後の「お手軽&おしゃれな簡単たまご料理レッスン♪」は、養鶏協会ではお馴染み、たまごタレントの友加里さんの司会進行のもと、管理栄養士・料理研究家の牧野直子先生が、おしゃれ料理の代表格である「エッグベネディクト」と付け合せのグリル野菜の料理を実演し、ガスレンジやグリルの使い方のコツなども紹介しました。



皆さん教わったレシピでエッグベネディクトの調理に挑戦し、意外と難しい半熟のポーチドエッグを、失敗なく上手に作り上げていました。

調理終了後は、牧野直子先生より「女子力を上げる！たまごの栄養」と題して、卵の栄養価の高さやカロリーの低さ、消化・吸収に優れている点など卵の魅力を講演いただきました。





(3) 畜産物輸出特別支援事業 (鶏卵輸出部会)



香港の主要 Café で11月14日～30日に「日本雞蛋祭」を開催しました。

これはプロモーション活動の一環であり、この期間に参加 Café で「日本のたまご」料理を食べた人にフェイスブックで食べた料理の写真や記事を投稿してもらい記念品を配布するというもので、フェイスブック社会である香港ならではの取組です。

フェイスブックを使っている方は以下のURLより是非ご覧ください。



<https://www.facebook.com/JapanEgg/>

鶏卵輸出部会の海外調査活動について

現在、鶏卵輸出がなされている仕向国は香港、シンガポール、台湾の3か国のみとなっています。

鶏卵輸出部会では将来の輸出可能性のある国々への調査活動を行っています。既に以下の国々への調査を終えています。

- ①8/21～8/25 ロシア (ウラジオストク) 5名参加
- ②9/26～9/30 韓国 (ソウル) 4名参加

また今年度として以下の2か国への調査を予定しています。

- ③12/4～12/8 フィリピン (マニラ) 3名参加予定
- ④H29. 1/15～1/19 マカオ 6名参加予定

調査活動は事前に地元の調査会社に調査レポート (その国の鶏卵需給や鶏卵関連法制等について) 作成を依頼し、出張時に報告を受けます。同時に調査会社の紹介で地元輸入業者・食品業者を訪問し面談を行い、「日本のたまご」輸出可能性を探ります。

また主要量販店、デパート、市場等を見学し鶏卵流通の実態の把握に努めます。

海外での活動や輸出にご興味のある方は、鶏卵輸出部会にご参加下さい。



日鶏協ニュース

平成28年11月号
一般社団法人 日本養鶏協会

2. 今後の予定

| | |
|--------------------|---------------------|
| 12月 1日(木) | 平成28年度第1回国際競争力強化委員会 |
| 12月 2日(金) | 鶏卵規格取引研修会 (京都) |
| 12月 4日(日)～ 8日(木) | フィリピン・マニラ マーケット調査 |
| 12月22日(木) | 平成28年度第2回国際競争力強化委員会 |
| 12月22日(金) | 組織改革委員会 |
| 12月29日(木)～ 1月3日(火) | 年末年始休業 |

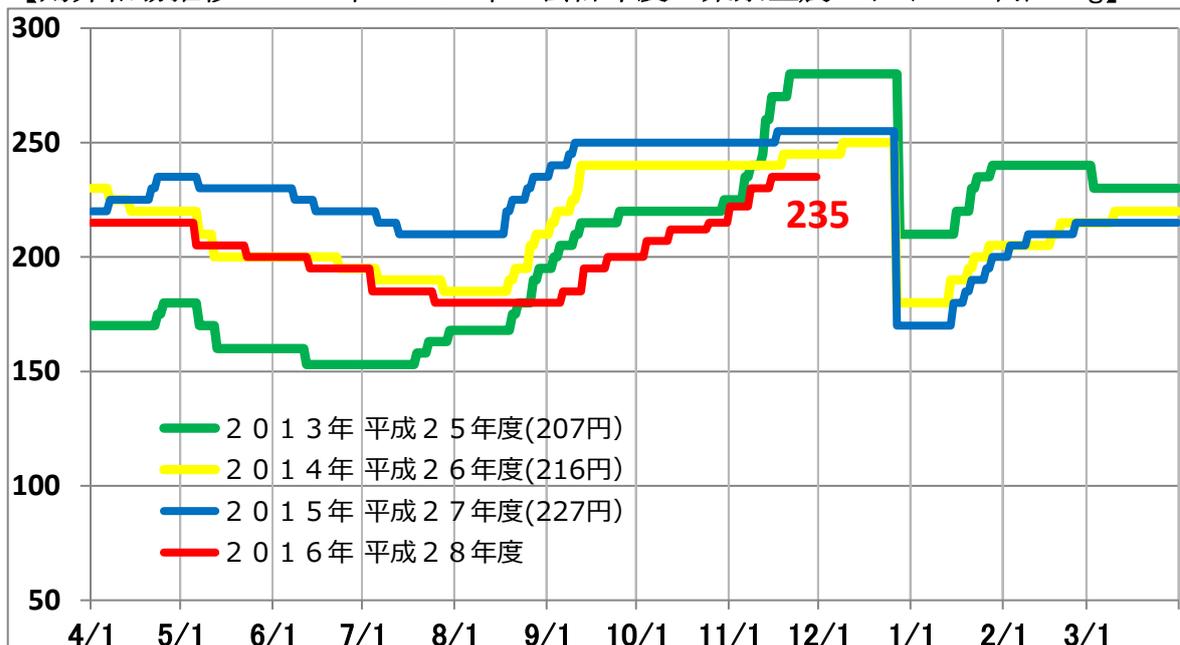


【相場動向】 過去10年間の10月相場<Mサイズ>

| | 平均値 | 高値 | 安値 |
|-------|-----|-----|-----|
| 平成19年 | 170 | 186 | 164 |
| 平成20年 | 211 | 232 | 204 |
| 平成21年 | 184 | 208 | 174 |
| 平成22年 | 197 | 218 | 189 |
| 平成23年 | 186 | 208 | 179 |
| 平成24年 | 193 | 211 | 187 |
| 平成25年 | 220 | 243 | 214 |
| 平成26年 | 240 | 258 | 234 |
| 平成27年 | 250 | 268 | 244 |
| 平成28年 | 211 | 233 | 194 |
| 平均値 | 206 | 227 | 198 |

平成28年10月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は先月より19円高い211円となりました。これは平成20年の平均値・高値とほぼ同じ相場となっています。しかし安値は4年ぶりに200円を下回る194円となり過去10年間の平均値と比べると4円安の相場となっています。

【鶏卵相場推移 2013年～2016年 会計年度 東京全農Mサイズ 円/ Kg】





平成28年の鶏卵相場は、例年に比べて上昇が遅い展開が続いていましたが、9月から徐々に回復し11月末には、235円まで上昇しています。

しかし、過去4年では最も低い相場となっています。

【鶏卵関係主要計数】平成28年9月までの1年間の主要計数推移

| | 雛餌付羽数(出荷) | | 配合飼料出荷量 | | 家計消費量 | | 鶏卵相場 | |
|--------|-----------|--------|---------|--------|---------|--------|-------|-----|
| | | | 成鶏用 | | 一人当たり | | 東京全農M | |
| | 数量(千羽) | 前年比 | 数量(千ト) | 前年比 | 数量(グラム) | 前年比 | 本年 | 前年 |
| 27年10月 | 8,862 | 104.3% | 476 | 97.6% | 851 | 103.9% | 250 | 240 |
| 11月 | 8,518 | 104.7% | 461 | 101.6% | 842 | 99.8% | 252 | 242 |
| 12月 | 9,070 | 103.0% | 518 | 97.1% | 850 | 96.7% | 255 | 248 |
| 28年1月 | 8,317 | 97.8% | 448 | 96.9% | 833 | 108.9% | 182 | 192 |
| 2月 | 8,604 | 104.0% | 470 | 104.6% | 845 | 103.2% | 209 | 209 |
| 3月 | 9,238 | 99.7% | 494 | 102.9% | 865 | 101.6% | 215 | 219 |
| 4月 | 8,779 | 104.4% | 486 | 101.4% | 890 | 106.1% | 215 | 227 |
| 5月 | 9,398 | 104.6% | 464 | 103.2% | 889 | 103.8% | 204 | 230 |
| 6月 | 9,228 | 101.6% | 463 | 101.9% | 867 | 108.0% | 197 | 223 |
| 7月 | 8,532 | 96.6% | 438 | 94.8% | 864 | 105.7% | 184 | 213 |
| 8月 | 8,471 | 112.9% | 454 | 106.9% | 811 | 100.8% | 180 | 219 |
| 9月 | 9,184 | 108.8% | 446 | 97.9% | 847 | 105.5% | 192 | 247 |
| 1年間小計 | 106,201 | 103.5% | 5,617 | 100.6% | 10,254 | 103.7% | 211 | 226 |

- ・餌付羽数は、2か月ぶりに9千羽を上回り前年比でも8.8%増となっています。
- ・配合飼料出荷量は、前年比割れの97.9%となりましたが、年間ではほぼ前年並みとなっています。
- ・鶏卵家計消費量は、28年1月以降前年を上回って推移しており、年間でも103.7%となっています。
- ・これらの統計からすると、供給サイドでの大きな落ち込みも無く、家計消費などの需要も堅調な展開となっています。

【日鶏協ニュース】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2016年12月1日

編集・発行責任者：小田上浩史 (info@jpa.or.jp)

